

資産運用レポート：逆イールド

1 はじめに

『改訂版 金利を見れば投資はうまくいく』より引用します。

長短金利差1%割れは注意、0%割れは警告

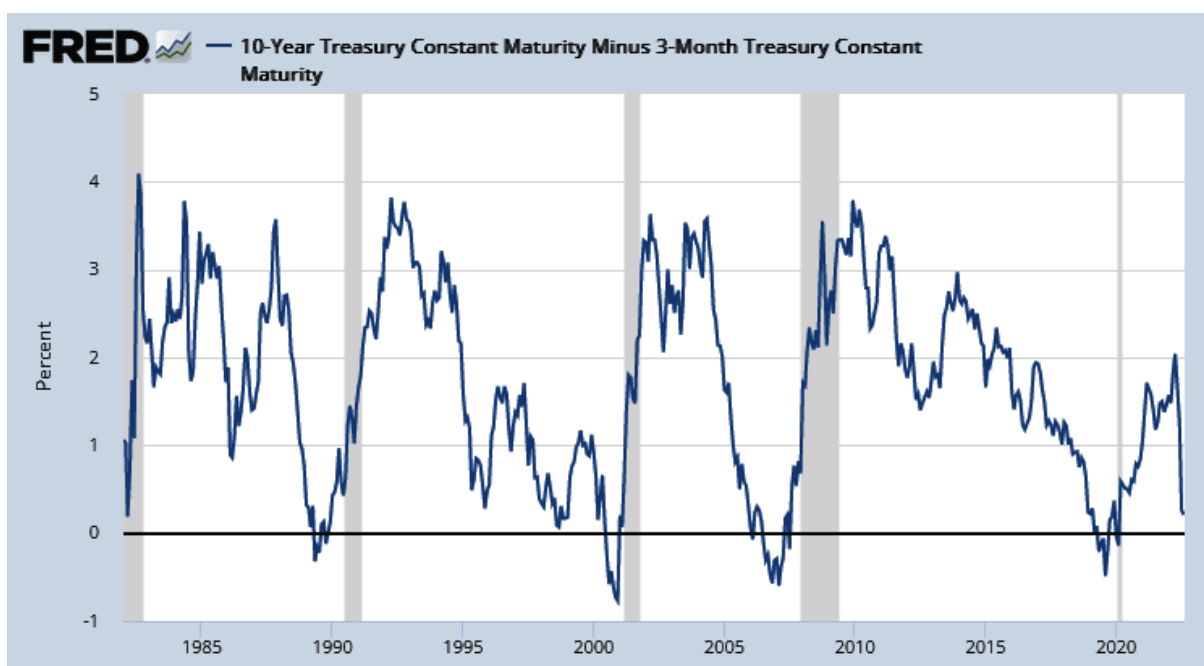
今世紀に入り、米国の短期金利が長期金利を上回る逆イールドが3回発生しました（図表1）。

- 2000年7月～12月
- 2006年2月、2006年7月～2007年4月
- 2019年5月～9月、2020年1月～2月

それからほぼ1年後には景気後退局面が訪れています。投資家にとって逆イールドは「然るべき準備をして、冬に備えなさい」というサインです。

恥ずかしながら、2008年のリーマンショックで大火傷を負うまで、私は金利に関する知識をまったく持ち合わせていませんでした。

今回の資産運用レポートでは「逆イールドという嵐の吹き荒れる中、マーケットを突き進めばどうなるか」という体験談を述べます。

★図表1：米国債の長短金利差（10年債－3カ月債）

注：グレーのシャドウ部分は景気後退局面